


第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	かかりつけ医利用促進事業			事業番号	02-101
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	細野 文和	健康づくり課	高橋 健一	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち	
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり	
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる	
		施策	2	安心できる地域医療体制の充実	
予算事業名	かかりつけ医普及定着促進事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	努力規定がある	
事業開始年度	開始年度	平成30年度	～	終了年度	—
関連法令等	医療法				
国・県の計画等	神奈川県地域医療構想 神奈川県保健医療計画		計画期間	平成28年度～令和7年度 平成30年度～令和4年度	
関連個別計画	健康いせはら21(第3期)計画		計画期間	平成30年度～令和4年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	強い病院志向などから、多くの患者が病院に集中し、「2時間待ち3分診療」などと言われる状況も依然として続いています。多くの市民が「かかりつけ医」の必要性を理解しつつも、「かかりつけ医」が十分普及・定着していないのが現状です。				
目的 (何をどうしたいのか)	医師会など関係医療機関と連携を図りながら、「かかりつけ医」等の普及と定着を促進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> 「かかりつけ医」の普及・定着を促進するため、医師会、歯科医師会、薬剤師会と連携し、「かかりつけ医ガイド」を作成するとともに、「かかりつけ医普及啓発講座」を開催します。 定期的な情報提供を図るため、市広報や市ホームページ等による周知を行います。 				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	かかりつけ医ガイドの作成・配布	事務調整	作成・配布	事務調整	
	かかりつけ医普及啓発講座の開催	3回実施	3回実施	4回実施	
医師会との定期的な情報交換会の開催	実施	継続実施	継続実施		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	かかりつけ医普及啓発講座参加者数	—	60人	120人	180人


 事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	啓発講演会等の実施により医療機関のかかり方を理解してもらうことの啓発活動をより強化し、市民への周知を図ります。また、かかりつけ医ガイド等の作成に向け、医師会、歯科医師会、薬剤師会との検討を行っていきます。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	かかりつけ医ガイドの作成・配布	事務調整	事務調整	事務調整
	かかりつけ医普及啓発講座の開催	1回実施	2回実施	1回実施
	医師会との定期的な情報交換会の開催	実施	実施	実施
実施した取組の内容				
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
	かかりつけ医普及啓発講座参加者数	—	平成30年度 24名	令和元年度 91名

コスト	年度	平成30年度 実績				令和元年度 実績				令和2年度 実績				
	事業費合計 (a)		0	千円	57	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
	内訳	国県支出金 ①	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		地方債 ②	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円		
		一般財源 (a)-①-②-③	0	千円	57	千円	0	千円	0	千円				
	国県支出金の内容													
	その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期									
		その他												
	人件費	正規職員	0.1	人	851	千円	0.2	人	1,740	千円	0.1	人	860	千円
		その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
		人件費合計 (b)	0.1	人	851	千円	0.2	人	1,740	千円	0.1	人	860	千円
	トータルコスト (a)+(b)		851	千円	1,797		千円	860		千円				
単位当たりコスト	対象数	市民		単位	市民		単位	市民		単位				
	定義	市民		単位	市民		単位	市民		単位				
	対象数	102,416	人	102,248		人	102,046		人					
総事業費 / 対象数		8	円	18		円	8		円					

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	左記判断理由	目標回数の講演会を開催することはできませんでしたが、コロナ禍においては十分な実施であったと考えています。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	県・近隣市でもかかりつけ医普及啓発活動は実施しています。
有効性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	左記判断理由	令和2年度は、公開講座は感染拡大防止のため実施できませんでしたが、地域活動を実践している方達への啓発を行い、コロナ禍での実施としては有効でありました。
効率性 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	B	左記判断理由	コロナ禍の経験から、かかりつけ医の役割を考える機会があった市民が増えているので、その時期を逃さず、健康増進の事業実施毎にかかりつけ医について啓発していくことが効率的だと考えられます。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
事業推進上の課題	コロナ禍で、発熱等の症状があった市民の中には、かかりつけ医の必要性を感じることもあったことから、その経験から時間を空けずに啓発を行うことが有効と考えます。しかし、そのテーマ単独での講座の開催は現状では難しいと考えられます。
令和3年度の取組方針	上記の課題から、今年度は健康増進等の事業と合わせての実施を計画していきます。
所管部長による総評	ワクチン接種による集団免疫の獲得までは、多くの市民に集まっていただく講座等よりも、健康増進事業等を利用してかかりつけ医について啓発していくことが望ましいと考えます。